

【オンライン】
卒後3年目研修「主体的にチーム作りに取り組む
ことができる入職3年目となるために」
～チームで働く力を身につけましょう～



講師
医療法人協和会
協立訪問看護ステーション
看護師 遠藤 優希氏



開催日時：①2022年7月13日（水）13：30～16：00
②2022年7月23日（土）09：00～11：30

対象：卒後3年目の全職種

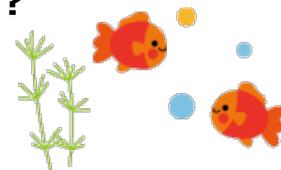
受講者数：165名

看護師82、理学療法士22、作業療法士15、言語聴覚士7、
社会福祉士6、事務職6、薬剤師5、管理栄養士4、臨床検査技師4、
臨床工学技士3、診療情報管理士3、介護福祉士2、准看護師2、
看護助手2、助産師1、診療放射線技師1、

研修内容



- 組織とは、チームとは
- 職場や地域で活躍する上で必要となる力
- 新・社会人基礎力
- チームで働く力はなぜ必要？
- チームは変わる
 - ・ チームワークの3つのレベル
 - ・ チームのプロセス
 - ・ グループ・ダイナミクス
- チームコミュニケーションを活性化する行動



受講者の感想 アンケートより抜粋



- ・ 自分がチームの一員であるということが再認識でき、どのような働きかけをしたら良いか分かった。
- ・ 私個人としての専門職の技術を磨き、引き出しを増やして柔軟に対応できるよう準備していきたい。
- ・ 自分自身の発言、ふるまいがチームに影響を与えるということを意識して行動していく。
- ・ チームで活動するためには、自分の傾向や自分ができることは何か考えることが大事。
- ・ チームを活性化するためには、個人の能力が高いだけでなく、相互作用が上手くいくことでチーム力も高まると学んだ。
- ・ 相互に影響し合うチーム作りの為、意見を発しやすい雰囲気作りや日常のコミュニケーションを大切にしたい。
- ・ 今までは先輩や上司に頼る部分が多かったが、今後は自分がパイプ役としてチーム活動に貢献していきたい。
- ・ チームや業務リーダーをするようになり、「チームを動かす力」について悩んだことがあった為、今後の自分の行動を考えていく良い機会となりました。
- ・ 自分が主体的に動くのは嫌だったが、研修を通して、分からないことは先輩に聞きながら自分も主体的に動いていきたい。